

マルシメ、軽トラタイプのEV販売 HWEと代理店契約

2023/11/07 日刊工業新聞 News ウェーブ 21 27ページ 528文字

■ショールーム来月開設

【名古屋】マルシメ（愛知県豊橋市、大熊康丈社長）は、軽トラックタイプの電気自動車（EV）の販売に乗り出す。2023年内にEVメーカーのHWEレクトロ（HWE、東京都江東区）と販売代理店契約を結ぶ。あわせて12月をめどに本社にショールームを開設し、営業活動を本格化する。年間30台の販売を目指す。

マルシメは東三河地域（愛知県東部）を中心に石油製品の販売やガソリンスタンドの運営を手がけている。自社のガソリンスタンドでEVの点検体制を整え、アフターサービスも提供する。

販売するHWEのEVは中国製で、満充電の走行距離は120キロメートル。軽乗用車クラスと乗用車クラスの2種類をそろえ、価格は230万円（消費税抜き）から。

今後、ハイブリッド車（HV）やEVがさらに普及し、ガソリン供給量が減少するのは避けられない。さらに二酸化炭素（CO2）削減の機運が高まり、化石燃料全体の需要が減少する。同社にとって主力事業の縮小が確実となったことから、EV販売に乗り出すことにした。

大熊社長は「EVは都市部とともにガソリンスタンドが減少している過疎地域での需要がある」とし、他社のEVの点検も請け負う方針。充電設備を備えたサービス拠点の展開も検討する。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.